

田んぼダムだより ~第6号~

農家の皆さまにおかれましては、田植えの真っ盛りの時期を迎え、忙しくされているかと思ひます。

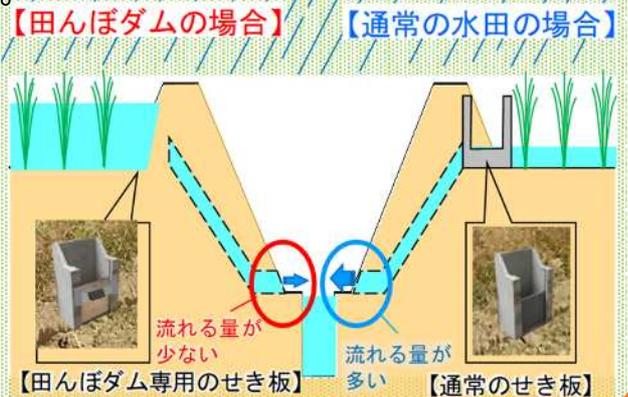
令和3年度から人吉・球磨管内で実施している「田んぼダム実証実験事業」については、令和4年度に終了しました。今年度からは、田んぼダムの取組みが県内全域で定着するよう普及・拡大を推進して参ります。

◆田んぼダムの取組みにご協力ください！

今年も梅雨の時期がやってきます。熊本県では、関係市町村の協力のもと、今年度も田んぼダムの普及・拡大を推進していきます。農家の皆さまにおかれましては、引き続き、田んぼダムへのご理解とご協力をお願いいたします。

【農家の皆さまへ】

- ①専用のせき板を差し込むだけで、手軽に取り組みが可能です。
※無料でせき板を配布中です。(せき板の数には限りがあります。)
- ②営農に支障がない範囲で、可能な限りの御協力をお願いします。
- ③興味のある方は、熊本県農村計画課へ問合せください。
(☎ 096-333-2406)



◆国庫補助事業を活用した田んぼダムの取組み

令和4年度から農地耕作条件改善事業に「水田貯留機能向上型」が新設され、田んぼダム専用排水柵の導入に係る簡易な整備を行えるようになりました。この補助事業を活用し、令和5年度は県営モデル事業として、人吉・球磨地域でモデル的にハード事業とソフト事業を実施し、本事業のノウハウを蓄積する予定です。

令和6年度以降は、団体営事業による取組みを推進する予定としています。

《《事業内容》》

補助事業名 農地耕作条件改善事業(水田貯留機能向上型)

事業期間 令和5年度

実施箇所 人吉市、山江村、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村

事業内容

(ハード事業) 排水柵の入替工事(老朽化した排水柵を機能分離型排水柵へ入替)

(ソフト事業) せき板の購入やイベント関連経費、広報活動経費等へ活用予定



◆田んぼダムマイスター研修会を実施！

県内全域で田んぼダムの取組みを牽引する人材『田んぼダムマイスター』を育成するため、昨年12月の講習会に続き、2月10日～17日に県内4箇所**田んぼダムマイスター研修会**を実施しました。

研修会では、広報動画やパンフレットを用いて仕組みや農家に向けての注意事項を説明しました。また、講師として、九州農政局農地整備課 諸岡課長補佐や一般社団法人農村振興センターみつね(新潟県見附市) 椿事務局長を招き、先進県の事例紹介や田んぼダムを取り組んでいただくうえでの重要なポイントなどを講義していただきました。



会場内の状況



諸岡課長補佐の講義



椿事務局長の講義

令和5年度以降も引き続き田んぼダムマイスターの育成を実施し、各地域において、普及・拡大を担っていただく予定としています。

◆田んぼダム効果等検証委員会から知事への提言

令和3年度から着手した「田んぼダム」については、外部有識者による「人吉・球磨地域田んぼダム効果等検証委員会」を設置し、田んぼダムの効果や農作物への影響、普及・啓発方法などの検証を行ってきました。

実証実験が令和4年度に終了することを受け、令和5年3月15日(水)に委員会から本県に対し、今後の「田んぼダム」の展開の方向性等を取りまとめた**提言書**を提出されました。委員長の渡邊紹裕 京都大学名誉教授からは、田んぼダムの効果が確認されたとして、「**地域を主体に、住民参加型の取組みとなるよう拡大を推進すべき**」と提言されました。

これに対し、蒲島県知事からは、「田んぼダムは住民参加型の流域治水そのもの。提言を参考にして、県内全域で**息の長い取組み**となるよう推進していく必要がある。」と県の考えを示しました。

